目　次

まえがき　*v*

序章　外国語学習への不思議 …… *1*

はじめに　*2*

1.　子供の発音が上手に聞こえるのはなぜか　*3*

2.　うっかりした誤りはなぜ生ずるのか　*5*

3.　単語を暗記しても会話や作文で思い出せないのはなぜ　*6*

4.　読むことはできるのになぜ話すことができないのか　*7*

5.　英語には丁寧な言葉遣いはないのか　*8*

6.　外国語学習の低年齢化は効果があるのか　*10*

7.　人はなぜ，違う言語を学ぶことができるのか　*10*

第 1 章　ことばの萌芽 …… *13*

はじめに　*14*

1.　生成主義言語学と認知言語学による言語習得理論　*15*

1.1.　普遍文法と生得的な言語習得装置　*16*

1.1.1.　生成文法　*16*

1.1.2.　言語習得装置の値の設定　*18*

1.1.3.　第 2 言語習得理論　*20*

1.1.4.　意味概念と言語構造の結び付け　*21*

1.2.　文脈・場面中の言語使用　*23*

1.2.1.　認知文法　*24*

1.2.2.　用法基盤モデル　*26*
2.　言語知識の獲得　*28*
2.1.　語彙・表現形式　*28*
2.2.　文法・構造　*30*
3.　接触頻度と言語発達の関連性　*32*
3.1.　母語環境　*33*
3.2.　外国語を繰り返す度合いと記憶の再生　*35*
3.3.　高頻度語彙　*35*
Column 1　赤ちゃんの持っていることばの種　*38*

第 2 章　記憶されていく外国語 …… *41*
はじめに　*42*
1.　人間の記憶のしくみ　*43*
1.1.　短期間の保持と知覚した情報の処理
──作業記憶の音韻ループ──　*46*
1.2.　長期間の保存と再生──顕在記憶と潜在記憶──　*52*
2.　語彙と文法の知識　*54*
2.1.　暗黙知と形式知　*55*
2.2.　語彙知識　*57*
2.3.　母語の文法知識　*58*
2.4.　外国語の文法知識　*60*
2.4.1.　生成主義言語学による文法知識の解釈　*63*
2.4.2.　認知言語学による文法知識の解釈　*64*
3.　記憶の脳内基盤　*65*
3.1.　母語の言語知識　*66*
3.2.　外国語の言語知識　*67*
3.3.　脳科学からの知見が外国語学習に意味すること　*69*
Column 2　記憶される記憶　*72*

第 3 章　記憶された外国語の活性化 …… *75*

はじめに　*76*

1.　学習の始まり　*76*

1.1.　注意・注目の対象　*77*

1.2.　入力刺激の関連性　*77*

1.3.　第 2 言語教育と気付き　*78*

1.4.　外国語学習と気付き　*80*

2.　気付きと作業記憶　*82*

2.1.　作業記憶の処理限界　*83*

2.2.　注意・注目の影響　*85*

3.　言語の処理過程　*86*

3.1.　自動処理と制御処理　*86*

3.2.　顕在記憶と潜在記憶　*88*

3.3.　「脳内の翻訳機」と語順　*89*

4.　外国語学習者にとって難しい助詞，冠詞や語尾変化　*92*

4.1.　気付かない誤り　*93*

4.1.1.　頻度と際立ち　*94*

4.1.2.　気付かない誤りの調査　*95*

4.2.　意味概念と臨界期の存在　*96*

4.3.　言語習得装置と臨界期　*97*

4.4.　言語運用と文法理論の限界　*99*

4.5.　構造言語と膠着言語　*101*

Column 3　音声を見る　*104*

第 4 章　記憶されている外国語の安定化と保持 …… *107*

はじめに　*108*

1.　記憶の保持方策　*109*

1.1.　反復練習と暗記　*109*

1.2.　語彙のネットワーク　*110*

2. 表現形式の再生・活性化 *111*
2.1. 母語干渉 *112*
2.2. 暗黙知と形式知への誤りの影響 *114*
3. 技能の獲得 *116*
3.1. 熟達 *116*
3.2. 外国語の習熟 *118*
3.2.1. 入門期から初級段階 *119*
3.2.2. 中級段階以降 *120*
4. 文法の位置付け *122*
4.1. 文法訳読法 *122*
4.2. 学習環境に応じた外国語の文法 *123*
4.3. 第 2 言語と外国語の相違 *124*
5. 心のメカニズムと外国語学習の促進 *126*
5.1. チャンクによるアプローチ *127*
5.2. 運用能力育成のための文法学習 *130*
5.2.1. 文法教材 *131*
5.2.2. 習熟に向けた教材の要件 *133*
5.3. 大学生・社会人の語彙・文法学習と自律 *136*
5.4. TOEIC® や TOEFL® *137*
Column 4 グローバル化時代のブロークンなエーゴ *140*

第 5 章 記憶に沈殿していく外国語と消滅する外国語…… *143*
はじめに *144*
1. 小学生の外国語学習と記憶 *144*
1.1. 思考の特徴と学習環境 *145*
1.2. 子供の外国語学習と諸課題 *147*
1.3. ことばの習得過程 *149*
1.4. 母語同一化音声処理の危険性 *150*
1.5. 音声的な際立ちと弱形 *152*

1.6.　文字とつづりを支える音声　*154*
1.7.　外国語の文字体系と学習段階　*155*
1.8.　音声による表現形式の学習　*157*
1.9.　学校教育臨床からの示唆　*159*
2.　中学生以降の外国語学習と記憶　*160*
2.1.　母語同一化音声処理の回避と解決　*161*
2.2.　文字の認識　*163*
2.3.　文字とつづりの困難性　*165*
2.4.　語彙の貯蔵と忘却　*167*
2.5.　文法規則の記憶　*169*
2.6.　運用能力の育成　*171*
2.7.　期待される語用論の貢献　*172*
Column 5　英国人は靴を見る　*174*

終章　日本の外国語学習のすがた…… *177*
はじめに　*178*
1.　外国語学習と教育実践者　*179*
2.　教育環境の正視　*180*
3.　意欲的な外国語学習　*183*

推奨文献…… *187*

あとがき…… *199*

索　　引…… *201*